

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2021. 6
No.334

イナテック平湖創業10周年

イナテック平湖創業10周年おめでとうございます。世界中がコロナ禍の中で、日本では第四波が発生しており、3度目の緊急事態宣言が発令されました。

その中でもイナテックグループの社員は皆元気に明るく頑張っています。イナテック平湖に行き皆さんの元気な顔を見たいのですが、非常に残念です。

イナテック平湖の営業利益の成績はイナテックグループの中でNo.1です。イナテック平湖を指して本社や鳥取も頑張っています。イナテック平湖も次の20周年、30周年を目指して頑張ってください。コロナが終息したら、いの一歩にイナテック平湖に駆けつけます。

イナテック平湖の皆さん、病氣や怪我をせず明るく元気なイナテック平湖にしてください。そしてイナテック平湖を利用して頂き、皆さん一人ひとりが成長してください。私は董事長として絶大なる応援をいたします。イナテック平湖創業10周年おめでとうございます。

『人間の器』 丹羽 宇一郎 著

丹羽氏の書かれた『人間の器』を読んで、皆さんにも一部を紹介させて頂きます。

お金に執着すると人は離れていく

お金は浮世を渡っていく上でとても大事なものです。それを目的にしたいわけではありません。お金がこの世でもっとも価値があるかのような風潮が続くと、お金をたくさん得ることが人生の目的だと信じる人が多くなります。しかし、お金はあくまで生きていくための手段にすぎません。あくまで心や生き方を豊かにする手段であって、目的ではない。

(中略)

よりよい人生を送るための手段と考えてお金を使うことが、お金のめぐりをよくし、社会を豊かにするのです。

(中略)

反対に今はお金があっても、いずれお金がなくなるときも来る。だから有頂天になつたり驕^{おご}つたりしなさんな。お金があっても謙虚に生きなさい。

(これは、「イナテックの基本の考え方」の中の一番上位にある目的の中の「イナテック社員の質的生活向上・家族の幸福」質的生活向上の意に通ずるところです。)

(中略)

「お金は追いかけると逃げていく」ものです。

(中略)

いつも損得の計算をしてお金に執着すると、他を考える余裕はなくなります。貯めることばかりで、社会に還元するなど他人のために使うという発想は生まれません。

そうになると、人は次第に離れていきます。人間とは思議なもので、お金が嫌いな人はめったにいませんが、いつも「お金、お金」といっている人には、お金はあまり近寄りたくな

い。一方で、「金は天下の回りもの」を体現して、人のため、社会のために使っている人にはお金が近づきたくなるし、応援したくもなるはずです。

かつて近江商人が説いた「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の「三方よし」の哲学は、実に理に適ったことを言っているのです。

(中略)

皆でよりよい社会を築くために、お金を気持ちよく回し合う。そのための工夫や努力を惜しまない。そんな感覚が、幸せな生き方につながっていくのだと思います。

「古着 de ワクチン」

これは知り合いの人が実際に体験されたモデルを読み、稲垣家も参加してみることにしました。

この「古着 de ワクチン」は、ジャパンSDGsアワード特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を受賞された企画です。

この企画は、子どもワクチン支援活動で、2020年も総額1億1115万3392円のワクチンや関連機器等を支援国ミャンマー、ラ

オス、ブータン、バヌアツの4か国に贈られています。

「古着 de ワクチン」は、ネットで申し込むと専用キットの大きな紙袋が送られて来て、土産や成長、引越し、衣替え、大掃除、ブランド品を買っても着ていなくてもったいないなくて捨てられない、等々これらをただ捨てるのではなく、社会貢献もでき、部屋も家も心もスッキリするシステムです。古着を紙袋(20kg~25kg入る)に詰めて送料込みで3300円で社会貢献ができる仕組みです。

ポリオ予防接種はポリオウイルスが脊椎に入ると、手足に麻痺が残ったり、命を落とす怖い子どもたちの病気です。大切にしてきたものが次の誰かの役に立つこと。もう着ないけど、捨てるには忍びない大切だった服。売っても二束三文にしかならないのなら、誰かに役立ててもらいたい。「古着 de ワクチン」なら開発途上国へ古着を送ることにより再利用されるだけでなく、現地の雇用創出にもつながります。

(古着 de ワクチンより)

茶根譚後集

六五

眼看西晉之荆榛、猶矜白刃。身屬北邙之狐兔、尙惜黃金。語云、猛獸易伏、人心難降、谿壑易滿、人心難滿。信哉。

世人は、西晉が亡んで、その都の跡に雜草が生い茂っているのを見ていながら、なお武力を誇り戦うことをやめない。また、その身は北邙に葬られて、きつねやうさぎの餌となるのを知っているが、なお黄金を惜しんであくせくしている。古語にも、「猛獸を降服させるのはまだ易しいが、人の心を降伏させるのはかえって難しい。深い谷をうずめるのはまだ易しいが、人の心を満足させるのはなかなか難しい」と言っている。全くその通りである。